I·O DATA

LANDISK HDL-GXシリーズ
Windows版 セットアップガイド

B-MANU200376-03

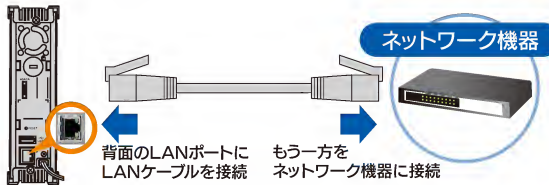
本紙をお読みになる前に、別紙【必ずお読みください】もご覧ください。
Mac OSで設定される場合は、別紙【Mac OS版セットアップガイド】をご覧ください。
お使いのパソコンにLANインターフェイスがあり、正しく動作していることをご確認ください。

ネットワークに導入する

●本製品をネットワークに導入する手順について説明します。

1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認してください。

2 ネットワークにつなぐ

本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続し、もう一方をネットワーク機器に接続します。

注意 ●必ず、LANケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

3 電源を入れる

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。
2. 本製品前面の電源ボタンを、「ピッ」と音が鳴り[POWER]ランプが点灯するまで押します。

注意 ●動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

4 STATUSランプを確認する

1. STATUSランプが緑色で点滅し、約90秒ほどで緑色で点灯します。

緑色 点滅開始 → 緑色 点灯 ピー

STATUSランプが緑色で点灯している

以上でセットアップは完了です。
これで、本製品を使用できる準備は整いました。

続きは左下の【本製品にアクセスする】をご覧ください。

注意 **本製品を導入するネットワーク内にすでに弊社製LANDISK※をお使いになっている場合は、既存のLANDISKの名前をご確認ください。**
※HDL、HDL-W、HDL-F、HDL-G、HDL-AV、HDL-GW、HDL-GZ、HDL-GX、HDL-GXR、HDL-GT、HDL-GTRの各シリーズ

すでにネットワーク内で弊社製LANDISKをお使いになっている場合で、そのLANDISKの[LANDISKの名前]の設定が出荷時設定の"LANDISK"となっている場合には、本製品の[LANDISKの名前]を別の名前(例:LANDISK1など)に変更する必要があります。

設定は、添付ユーティリティ「Magical Finder」にて行います。
①本紙右下の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】の❶～❺の手順を参考に、「Magical Finder」を起動します。
②[LANDISKの名前]を"LANDISK1"など別の名前に変更し、[OK]ボタンをクリックします。
※他の設定は変更する必要はありません。

①[LANDISK1]などに変更 ②クリック

③[OK]ボタンをクリックします。
④「Magical Finder」の[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

以上で設定終了です。

STATUSランプが赤く点滅している

DHCPサーバーよりIPアドレスを取得できない状態です。
右下の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】をご覧ください。

注意 **ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合、[STATUS]ランプは赤く点滅します。**

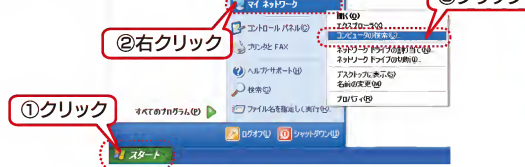
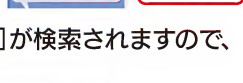
ネットワーク内にDHCPサーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

①いったん、本製品の[電源]ボタンを押して本製品の電源を切ります。(裏面[電源を切るときは・・・]参照)
②DHCPサーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。
③[電源]ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンのIPアドレス】の項をご覧ください。

本製品にアクセスする

Windows XPの場合

1. [スタート]をクリックし、[マイネットワーク]を右クリック後、表示された[コンピュータの検索]をクリックします。

2. [コンピュータ名]に「landisk」※と入力し、[検索]ボタンをクリックします。
※本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

3. [HDL-GX series(Landisk)]が検索されますので、ダブルクリックします。

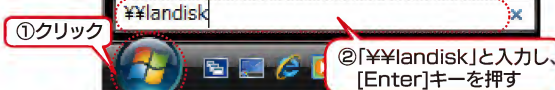
注意 **1台しかないはずのLANDISKが2つ表示された場合・・・・**
Windows XPから、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2つのLANDISKが発見されることがあります。
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。なお、2つのうちどちらからでもアクセスは可能です。

4. [disk]フォルダをダブルクリックすると、LANDISKの使用可能なフォルダが開きます。

?「landisk」が検索されない

●セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤウォール機能を無効にすることで検索される場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
●本製品背面の[ACT/LINK]ランプが点灯していることをご確認ください。ランプが消灯している場合は、LANケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
●(Windows XP/2000の場合)
本製品のIPアドレスで検索できるかご確認ください。
※本製品のIPアドレスは、[Magical Finder]画面で確認することができます。(右の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】の❸画面の一覧項目内の[IPアドレス])
●Windows Vista™の場合
本製品のIPアドレスでアクセスできるかご確認ください。
※本製品のIPアドレスは「MagicalFinder」画面で確認することができます。「MagicalFinder」画面で192.168.0.200と表示されている場合は、スタートをクリックし、[検索の開始]をクリック後、「¥¥192.168.0.200」と入力し[Enter]キーを押します。

Windows Vista™の場合

1. [スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、「¥¥landisk」※と入力し、[Enter]キーを押します。
※本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

2. [disk]フォルダをダブルクリックすると、LANDISKの使用可能なフォルダが開きます。

Windows 2000/Me/98の場合

※画面はWindows 2000での例です。

1. デスクトップ上にある[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックして、[コンピュータの検索]をクリックします。

2. [コンピュータ名]に[landisk]※と入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。
※本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

「landisk」と入力 クリック

3. [Landisk]が検索されますので、ダブルクリックします。

4. [disk]フォルダをダブルクリックすると、LANDISKの使用可能なフォルダが開きます。

注意 ●長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから取り外しておくことをおすすめします。
●本製品を使用中にデータなどが消失した場合でもデータなどの保証は一切致しかねます。ハードディスクは消耗品です。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品に固定の IPアドレスを設定する場合

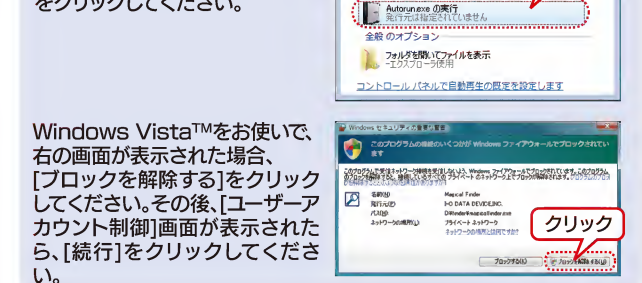
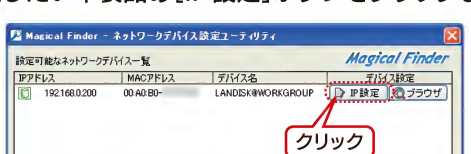
ネットワーク内にDHCPサーバーとなるネットワーク機器が無い場合、本製品をお使いのネットワークで使用しているIPアドレスに合った固定のIPアドレスに設定する必要があります。

1. パソコンを起動します。
2. 添付CD-ROMをパソコンにセットすると自動で画面が表示されますので、[Magical Finder起動]をクリックします。
※自動で画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]を開きCD-ROMをダブルクリックしてください。

クリック Magical Finder起動 / サポートソフトインストール / 困ったときには / ユーザー登録

注意 Windows XP SP2をお使いで右の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

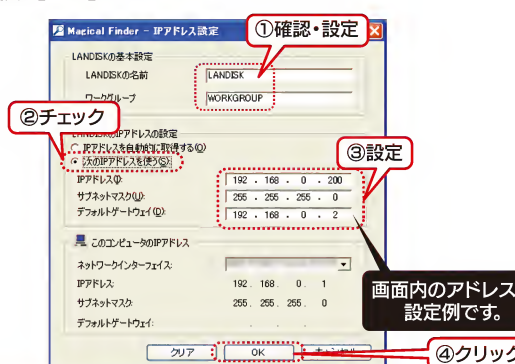
Windows Vista™をお使いで、CD-ROMを挿入し、右の画面が表示された場合、[Autorun.exeの実行]をクリックしてください。

Windows Vista™をお使いで、右の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後、[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら、[続行]をクリックしてください。

3. 自動で本製品が検索されます。
設定したい本製品の[IP設定]ボタンをクリックします。

?本製品が見つからない場合は…

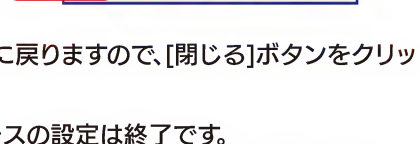
●30秒ほど待ってから、[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
●セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤウォール機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティー機能を解除してご確認ください。
詳しくはセキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
●本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。

4. 何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。

5. [LANDISKの名前][ワークグループ]を確認後、お使いのネットワークに合わせたIPアドレスを設定後、[OK]ボタンをクリックします。

①確認・設定 ②チェック ③設定 ④クリック
画面内のアドレスは設定例です。

LANDISKの名前	ネットワーク上([マイネットワーク]あるいは[ネットワークコンピュータ]など)に表示される本製品の名称です。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。 ※数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。 注意 本製品を導入するネットワーク内にすでに弊社製LANDISK※をお使いになっている場合は、既存のLANDISKの名前をご確認ください。 ※HDL、HDL-W、HDL-F、HDL-G、HDL-AV、HDL-GW、HDL-GZ、HDL-GT、HDL-GTR、HDL-GX、HDL-GXRの各シリーズ すでにネットワーク内で弊社製LANDISKをお使いになっている場合で、そのLANDISKの[LANDISKの名前]の設定が出荷時設定の"LANDISK"となっている場合には、本製品の[LANDISKの名前]を別の名前(例:LANDISK1など)に変更する必要があります。 ■設定例 1台目のLANDISKの名前 「LANDISK」 2台目のLANDISKの名前 「LANDISK1」など
ワークグループ	"ワークグループ"はパソコンの"ワークグループ名"と一致しなければなりません。(パソコンのワークグループ名を確認してください。) ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。
IPアドレス	画面下の「■このコンピュータのIPアドレス」内の「IPアドレス」を参考に、末尾の値がパソコンや他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。
サブネットマスク	画面下の「■このコンピュータのIPアドレス」内の「サブネットマスク」と同じ値を設定します。
デフォルトゲートウェイ	画面下の「■このコンピュータのIPアドレス」内の「デフォルトゲートウェイ」と同じ値を設定します。 ※値が表示されていない場合は設定を空欄にします。

参考 ●本製品のIPアドレスは、設定用パソコンのIPアドレスと同じサブネット上に設定してください。
●設定用パソコンのIPアドレスの確認方法は、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンのIPアドレス】もご覧ください。

6. [OK]ボタンをクリックします。

クリック

7. ❸の画面に戻りますので、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上でIPアドレスの設定は終了です。
この後、左の【本製品にアクセスする】をご覧ください。

その他の使い方

次のようなことをしたい場合は、本製品のWeb設定画面内のオンラインマニュアルをご覧ください。(以下の【オンラインマニュアルの見かた】をご覧ください。)

- ●共有を作成したり、アクセス権を設定する
- ●ハードディスクやプリンタを増設する
- ●バックアップする
- ●弊社製AVeL LinkPlayerで利用する
- ●ミラーリング機能を利用する
- ●MSドメイン機能を利用する
- ●FTPサーバーとして使用する
- ●出荷時設定に戻す
- ●その他、疑問やトラブルがあった場合

オンラインマニュアルの見かた

※オンラインマニュアルは設定画面内にあります。
※弊社ホームページ上にも最新のオンラインマニュアルを公開しておりますので、ご利用ください。
http://www.iodata.jp/support/product/hdl-gx/

以下の【設定画面の開き方】❶～❸ を参照して、起動メニュー画面を開きます。[オンラインマニュアルを開く]ボタンをクリックすればオンラインマニュアルが表示されます。

オンラインマニュアルを開く

設定画面の開き方

❶ パソコンに添付CD-ROMをセットすると自動で画面が表示されますので、[Magical Finder起動]をクリックします。
※自動で画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]を開きCD-ROMをダブルクリックしてください。

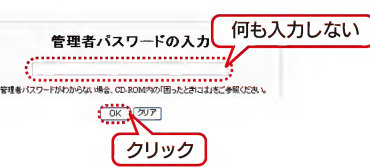
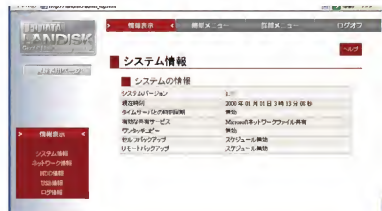
注意 Windows XP SP2をお使いで右の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

Windows Vista™をお使いで、CD-ROMを挿入し、右の画面が表示された場合、[Autorun.exeの実行]をクリックしてください。

Windows Vista™をお使いで、右の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後、[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら、[続行]をクリックしてください。

❷ 自動で本製品が検索されます。
[ブラウザ]ボタンをクリックします。

❸ しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。
[管理者用設定ページを開く]ボタンをクリックします。

❹ 以下の画面が表示されます。何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。

❺ 設定画面が表示されます。
この画面から各種設定を行うことができます。

困ったときには

※本紙に掲載されていない疑問やトラブルについては、CD-ROM内の[困ったときには]もご覧ください。
CDメニューの[困ったときには]→[読む]を順にクリックすれば表示されます。

ランプが正常に点灯しない

●[STATUS]ランプが赤色点滅したままの場合
→DHCPサーバーが正常に動作していることを確認して本製品の電源を入れ直してください。
DHCPサーバーを使用していない場合、または、DHCPサーバーを使用している環境でもランプが赤く点滅したままの場合は、表面【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】をご覧ください。
DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法は、別紙【必ずお読みください】裏面【DHCPサーバーの確認方法】をご覧ください。
→LANケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

●[POWER]ランプが点灯しない場合
→電源ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

●背面の[ACT/LINK]ランプが点灯しない場合
→LANケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

設定画面が開けない

原因 接続が正しく行われていない
本製品の電源が入っているか([POWER]ランプが点灯しているか)、接続ケーブルがLANに接続されているか、背面の[ACT/LINK]ランプが点灯または点滅しているか、確認してください。
(パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因 セキュリティ関連のソフトウェアが制限している
セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤーウォール機能を無効にすれば、開ける場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
本製品の設定終了後に、ファイヤーウォール設定を戻していただいても結構です。

DHCPサーバーがあるかどうかわからない

別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンのIPアドレス】下【DHCPサーバーの確認方法】の個所を参照してください。

WindowsからアクセスできるのにMac OSからアクセスできない

原因 [AppleShareネットワーク ファイル共有]設定が有効になっていない
Mac OSでお使いになる場合は、本製品の[AppleShareネットワークファイル共有]設定を有効にする必要があります。
設定画面を開き、[管理者用設定ページを開く]の[詳細メニュー]→[ネットワーク]→[共有サービス設定]を開き、[AppleShareネットワークファイル共有]を有効(チェック)にしてください。(設定画面の開き方については、左の【設定画面の開き方】をご覧ください。)

電源を入れると、STATUSランプとeSATAランプが点滅し、ブザーが鳴り続けている

原因 内蔵ドライブとeSATAドライブのミラー情報に異なる点がある
対応については、CD-ROM内の「困ったときには」内【ミラーリングで使用時のトラブル】をご参照ください。

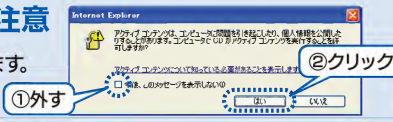
CD-ROM内「困ったときには」の見かた

添付CD-ROM内には、本紙に記載されていない質問やトラブルについて記載されています。以下の手順で見ることができます。

❶ 添付CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

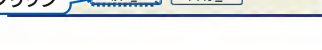
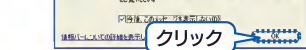
❷ 表示されたメニューの[困ったときには]→[読む]を順にクリックすれば表示されます。

注意 オンラインマニュアルやCD-ROM内の「困ったときには」を見る際のご注意

Windows XPにService Pack 2がインストールされた環境では、右のメッセージが表示される場合があります。
[今後、このメッセージを表示しない]のチェックを外し、[はい]ボタンをクリックします。
⇒オンラインマニュアルや「困ったときには」が表示されます。

参考 [いいえ]ボタンをクリックした場合

①下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルや「困ったときには」が表示されます。

②この場合、一部の機能が正しく動きません。
情報バーをクリックし、表示された[ブロックされているコンテンツを許可]をクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルや「困ったときには」が正しく動きます。

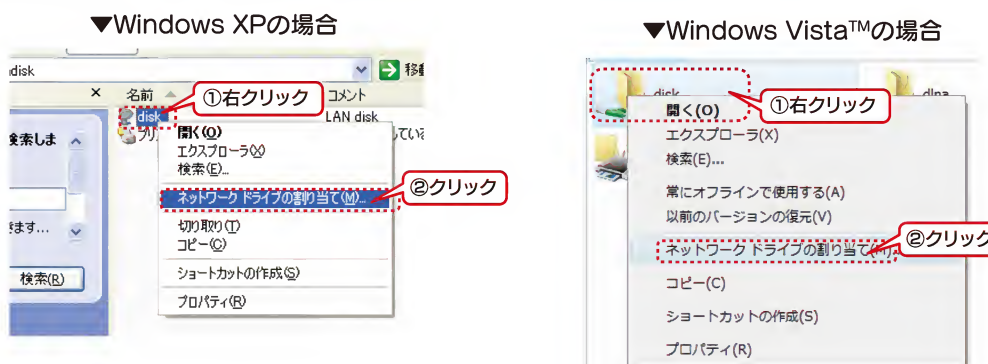
③下の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。

便利な使い方:
ネットワークドライブの割り当て方法

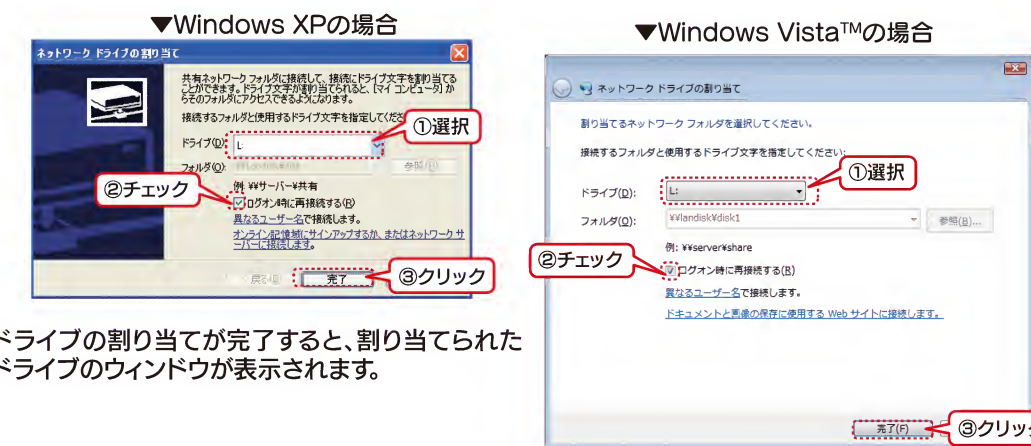
本製品をネットワークドライブに割り当てれば、[マイコンピュータ]上から簡単にアクセスできるようになります。

❶ 表面の【本製品にアクセスする】の手順❶～❸を行います。

❷ [disk]フォルダを右クリックし、表示されたメニューの[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

▼Windows XPの場合

▼Windows Vista™の場合

❸ ネットワークドライブを割り当てます。
①[ドライブ]にて本製品に割り当てる文字を選びます。(画面例では、Lを選択しています。)
②[ログオン時に再接続する]にチェックを付けます。
③[完了](または[OK])ボタンをクリックします。

▼Windows XPの場合

ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

▼Windows Vista™の場合

❹ [マイコンピュータ]を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。
ネットワークドライブは、パソコンのハードディスクと同様にアクセスできます。

▼Windows XPの場合

ネットワーク ドライブ
'HDL-GX series (Landisk)' の disk (L:)

▼Windows Vista™の場合

デジカメやUSBメモリーの内容をコピーする

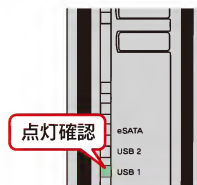
前面のUSBポート1に接続したデジカメやUSBメモリーの内容を、本製品の内蔵ハードディスクやUSBポート2やeSATAポートに接続したハードディスクにコピーすることができます。
次の例では、内蔵ハードディスク内の[disk]フォルダに、USBポート1に接続したUSBメモリーの内容をコピーした場合を説明しています。

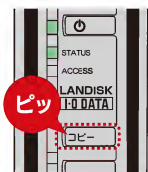
注意 本製品出荷時にはコピー先として、内蔵ハードディスク内の[disk]フォルダが設定されています。
USBポート2やeSATAポートに接続したハードディスクにコピーする場合は、あらかじめ本製品の設定画面でコピー先を変更しておく必要があります。
設定方法は、オンラインマニュアルの【デジカメやEasyDiskのデータコピー方法】の個所をご覧ください。

対応デジカメ・USBメモリー

- ●デジカメの場合、USBマスストレージクラスの転送に対応していること
- ●FATフォーマットになっていること

※最新の対応機器については、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/

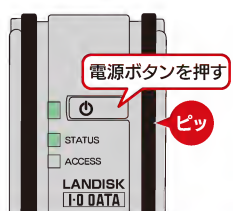
❶ 前面のUSBポート1にデジカメやUSBメモリーを接続し、USB1ランプが点灯することを確認します。

※コピー先としてハードディスクを接続した場合はUSB2またはeSATAランプの点灯も確認します。

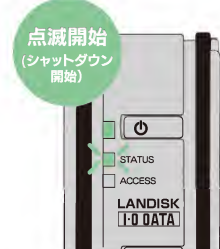
❷ [コピー]ボタンを"ピッ"と音が鳴るまで押します。

❸ コピー中は、STATUSランプが点滅します。
"ピッピッピッ"と鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。

❹ デジカメまたはUSBメモリーを、USBポートから取り外します。

コピーしたファイルは、コピー先ハードディスクのdisk共有の[quickcopy]フォルダに、コピーした日時のフォルダで保存されます。(例:2006年2月17日19時28分37秒の場合、[20060217-192837])

重要 電源を切るときは…

❶ 「ピッ」と音が鳴り、[STATUS]ランプが点滅するまで電源ボタンを押します。

注意
- ●増設ハードディスクやプリンタがある場合は、上記❶～❷にて本製品の電源OFF⇒増設ハードディスクやプリンタの電源をOFFの順で電源を切ってください。
- ●長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外しておくことをおすすめします。

❷ シャットダウンを開始します。
本製品前面のSTATUSランプ(緑色)をご確認ください。

この間に、保存中のデータを内蔵HDDや増設HDDに書き戻しています。
しばらくお待ちください。

❸ シャットダウンが終了すると、自動的に電源が切れ、POWERランプが消灯します。